

NRIだより

2015年3月期
第2四半期

2014年4月1日～2014年9月30日



- 1 株主の皆様へ
- 2 数字で見るNRI
- 3 セグメント別およびサービス別の概況
- 4 トピックス
- 8 会社データ

野村総合研究所
Nomura Research Institute

株主の皆様へ | To Our Shareholders



株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

国内景気は穏やかな回復基調が続き、企業の業績にも改善が見られます。それを背景に、コンサルティングからシステム開発・運用までを一貫して提供できるNRIに対するニーズが高まっています。そのような環境の中、長期経営ビジョン「Vision 2015」の達成に向けて、強みをさらに伸ばしつつ新しい分野での成長施策を推し進めています。

金融関連分野では、マイナンバー制度(社会保障・税番号制度)や金融所得一体課税などの制度改正が予定されており、NRIの共同利用型サービス(「STAR」「BESTWAY」など)では、これらに対応したサービスの準備が今後本格化します。マイナンバー制度のサービス提供については、共同利用型サービスと事務アウトソーシング(BPO)サービスを

組み合わせでおこなう予定です。制度改正に着実に対応することで、さらなる事業拡大に努めていきます。

産業関連分野では、顧客との信頼関係を深め、サービス提供領域を拡大することによる事業拡大に積極的に取り組んでいます。また、コンサルティング部門とITソリューション部門の連携による中長期的な視点での営業活動も強化しています。

海外展開については、東南アジアでのITサービス提供体制を強化し、日本企業のグローバル事業拡大を支援しつつ、規模を拡大しています。

好調な事業環境を背景に、当第2四半期累計の売上高は1,973億円(前年同期比8.1%増)と増収、営業利益は221億円(同6.9%減)となりました。第1四半期の不採算案件の影響がありましたが、第2四半期の営業利益は好水準です。この勢いを継続させて、通期業績予想の達成を目指していきます。

また、第2四半期末の中間配当金については、期初予想どおり1株当たり4円増の30円と決定しました。

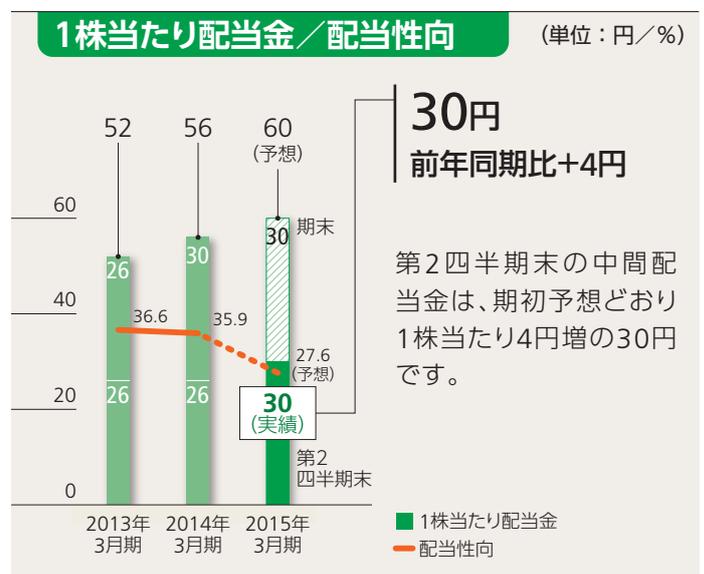
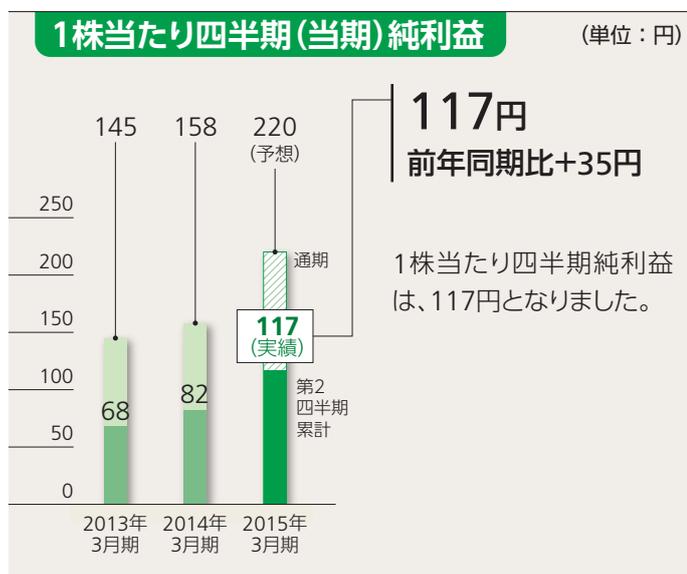
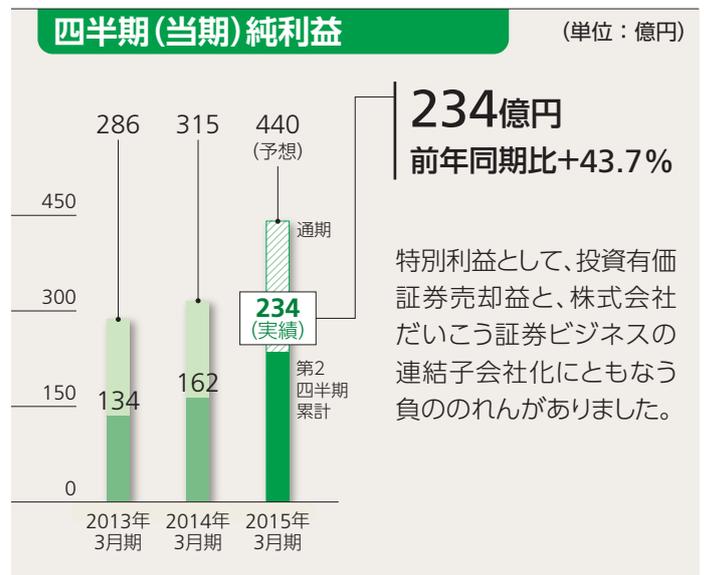
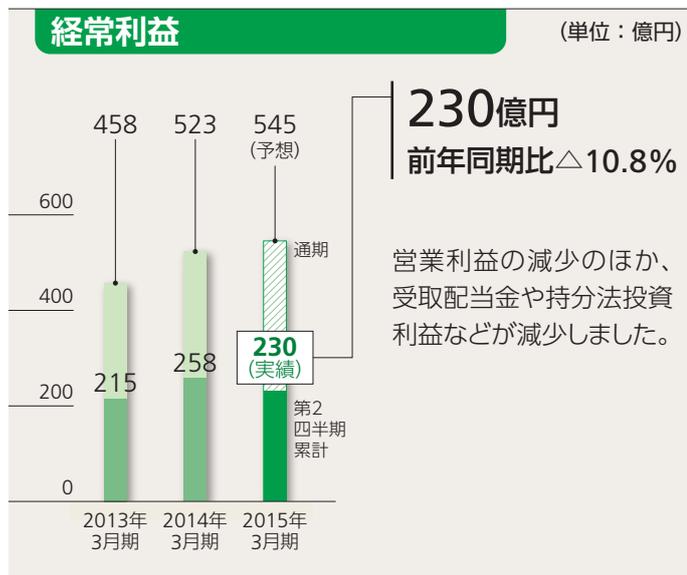
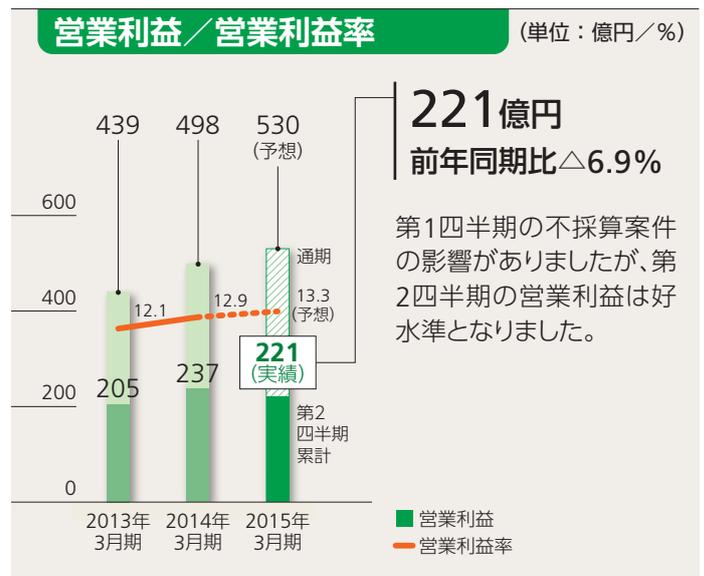
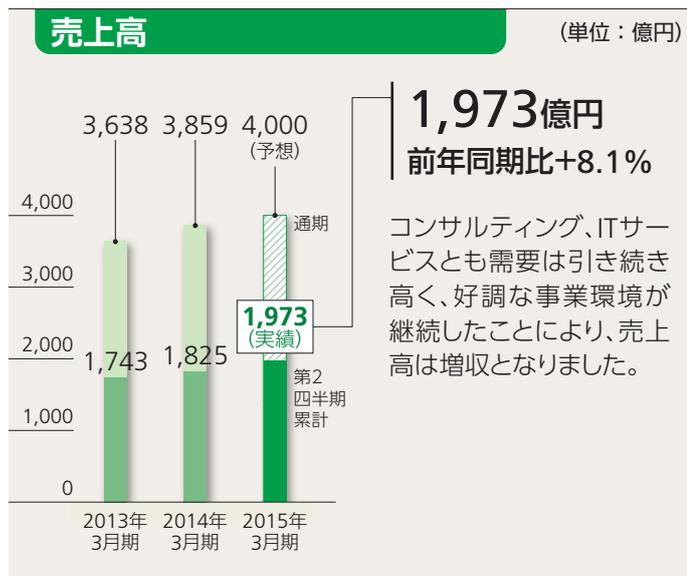
株主の皆様におかれましては、なにとぞ一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2014年11月
代表取締役社長

嶋本 正

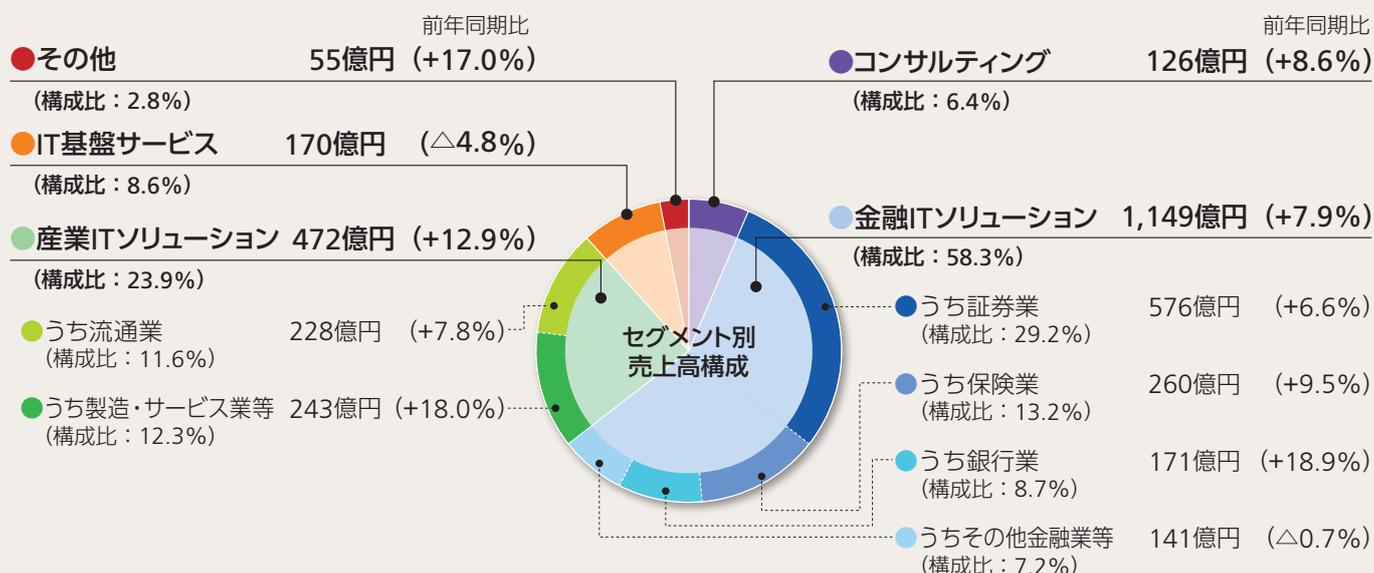
数字で見るNRI | NRI at a Glance

2015年3月期第2四半期 (2014年4月1日~2014年9月30日)



(注) 1. 記載金額は、億円未満 (1株当たり四半期(当期)純利益・配当金は円未満) を切捨てて表示しております。
 2. 前第3四半期より「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」を適用し、過去の数値については遡及適用後の数値を記載しています。
 3. 2015年3月期通期予想は、2014年7月25日に発表したものです。業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。したがって、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における状況変化等により、実際の売上高、利益および配当金は当該予想と異なる結果となる可能性があります。

セグメント別売上高



コンサルティングは、企業収益の改善を受け、企業の構造改革に関するコンサルティングや顧客のシステム刷新プロジェクトを支援するシステムコンサルティングが増加し、売上高は126億円と前年同期比8.6%の増収となりました。

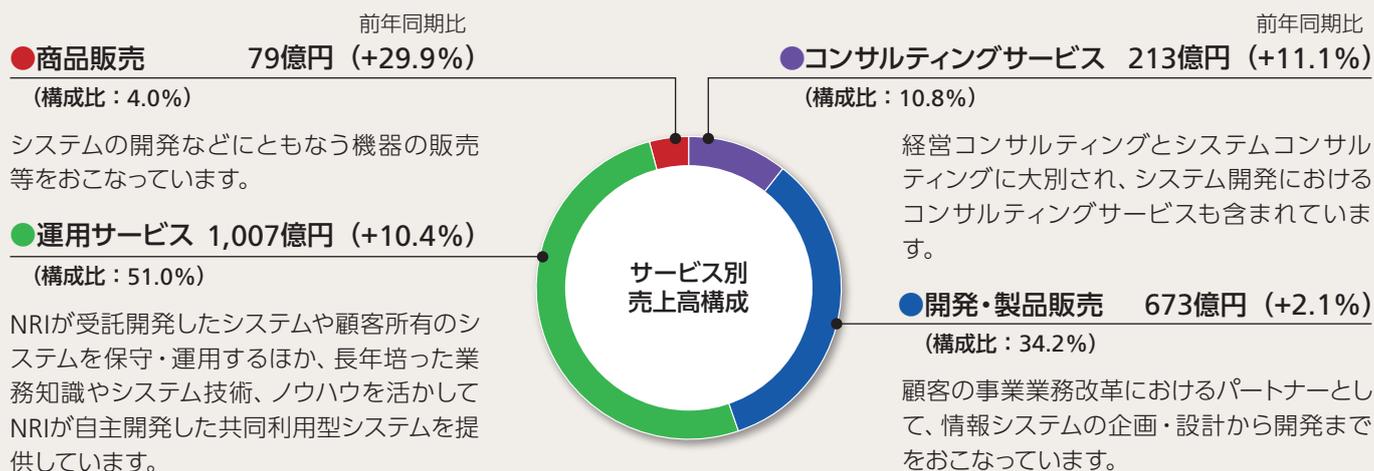
金融ITソリューションは、当期からNRIグループに加わった株式会社だいこう証券ビジネスの寄与もあり証券業、銀行業向け運用サービスなどが増加し、売上高1,149億円と前年

同期比7.9%の増収となりました。

産業ITソリューションは、通信業向けシステム開発を中心に、流通業、製造・サービス業等向けとも好調で、売上高472億円と前年同期比12.9%の増収となりました。

IT基盤サービスは、不採算案件の影響もあり、売上高170億円と前年同期比4.8%の減収となりました。

サービス別売上高



システムの開発などともなう機器の販売等をおこなっています。

NRIが受託開発したシステムや顧客所有のシステムを保守・運用するほか、長年培った業務知識やシステム技術、ノウハウを活かしてNRIが自主開発した共同利用型システムを提供しています。

コンサルティングサービスでは、戦略コンサルティング、業務コンサルティング、海外案件が増加し、売上高は213億円と前年同期比11.1%の増収となりました。

開発・製品販売では、保険業と銀行業に加え、製造・サービス業等向けシステム開発で増加し、売上高は673億円と前年同期比2.1%の増収となりました。

運用サービスでは、共同利用型サービスの顧客・サービス

経営コンサルティングとシステムコンサルティングに大別され、システム開発におけるコンサルティングサービスも含まれていません。

顧客の事業業務改革におけるパートナーとして、情報システムの企画・設計から開発までをおこなっています。

の増加や、ITシステムのアウトソーシングの増加、当期からNRIグループに加わった株式会社だいこう証券ビジネスの寄与により、売上高は1,007億円と前年同期比10.4%の増収となりました。

商品販売では、ITのインフラ構築案件の増加ともなう機器販売が寄与し、売上高は79億円と前年同期比29.9%の増収となりました。

(注) 記載金額は、億円未満を切捨てて表示しております。

▶ 鹿児島銀行に個人・法人向けインターネットバンキングサービス「Value Direct」を提供



▲ 鹿児島銀行 かぎんeバンクサービス (個人向け)PC画面のイメージ



◀ 鹿児島銀行 かぎんeバンクサービス (個人向け)スマートフォン画面のイメージ

NRIは、株式会社鹿児島銀行に対し、インターネットバンキングサービス「Value Direct(バリュー・ダイレクト)」の提供を開始しました(個人向けは2014年5月12日から、法人向けは2014年8月11日からサービス開始)。

「Value Direct」は、NRIが提供する共同利用型のインターネットバンキングサービスです。個人・法人の利用者がインターネットを通じて、預金、資産運用、ローン、総合振込など幅広くご利用いただけます。個人向けサービスの特長としては、利用者の使いやすさや、営業支援機能の充実、NRIが提供する各種投資信託関連のサービスとの親和性、などが挙げられます。2014年8月末現在、12の金融機関においてご利用いただいています。

NRIは、今後もサービスの拡充や機能の向上を通じてインターネットバンキングの利用者の利便性を高めるとともに、金融機関のビジネス戦略を実現するための戦略的なパートナーとして業務を支援していきます。

[Value Direct]についての詳細は、下記をご参照ください。
http://fis.nri.co.jp/ja-JP/service/list/U-Z/Value_Direct.html

世界の金融ITサービス企業ランキング「FinTech Rankings」で第9位に



NRIは、金融サービス企業IDC Financial Insights^{*1}が発表する世界の金融ITサービス企業のランキング「2014 FinTech Rankings^{**2}(フィンテック・ランキングス)」において、第9位に選ばれました。このランキングでは5年連続、かつ日本企業では唯一のトップ10入りです。

これは、NRIが変化の激しい金融市場で、継続的に革新的なサービスを提供できていることの証しです。NRIは、今後も引き続き顧客サービスの向上に努めていきます。

※1 IDC Financial Insights: 金融機関やIT業界のリーダーへ向けて、経験豊富なアナリストが、銀行、保険、証券、投資業務のビジネスやIT戦略のための調査やコンサルティングサービスを提供する、米国が本社のグローバル金融サービス企業です。

※2 FinTech Rankings: IDC Financial Insightsが発表するランキング。全世界の売り上げのうち、金融関連事業の収益が全体の1/3以上を占める金融ITサービス企業を対象に、エントリーされた企業に対する調査と、IDC Financial Insightsが独自におこなう研究や市場分析に基づき、前年の収益と、それに占める金融ITサービスの割合を評価してランキングが決定されます。詳細は、右記をご参照ください。 <http://www.idc.com/prodserv/insights/financial/ps/fintech/index.html>

▶野村アセットマネジメントに新サービス(投資一任業務向け)を提供

NRIは、野村アセットマネジメント株式会社(以下、野村アセット)に対し、2014年5月12日より投資一任業務^{※3}向けサービスの提供を開始しました。

今回提供したサービスは、資産運用会社がおこなう投資一任口座のバックオフィス業務を支援する「T-STAR/RX」、口座の運用成果の計測や分析を支援する「T-STAR/GX」、投資顧問レポート作成業務を支援する「T-STAR/ReportAssist 投資顧問向け」の3つを組み合わせたものです。これにより、野村

アセットの業務の標準化、効率化を支援していきます。

NRIは提供するITソリューションサービスの拡充により、わが国の資産運用会社の業務効率化やサービス向上に貢献していきます。

※3 投資一任業務:「金融商品取引法」に基づき、スポンサー(委託者)からの一任を受けたファンドの投資運用をおこなう業務をさします。NRIは、運用内容の妥当性、成果をスポンサーや評価機関に適切なタイミングで開示するための一連の業務を支援するサービスとして、「T-STAR/RX」などを提供しています。

サービスについての詳細は、下記をご参照ください。

T-STAR  **RX**

http://fis.nri.co.jp/ja-JP/service/list/P-T/T_STAR_RX.html

T-STAR  **GX**

http://fis.nri.co.jp/ja-JP/service/list/P-T/T_STAR_GX.html

T-STAR  **Report Assist**

(投資顧問向け)

http://fis.nri.co.jp/ja-JP/service/list/P-T/T_STAR_ReportAssist_advisor.html

▶NRIプロセスイノベーションと日経印刷ホールディングスが金融業界向けにレポート作成サービスをおこなう新会社を設立

NRIのグループ会社であるNRIプロセスイノベーション株式会社と日経印刷ホールディングス株式会社(以下、日経印刷HD)は、2014年7月2日に、合併でNRIフィナンシャル・グラフィックス株式会社(以下、NRI-FG)を設立しました。

金融機関は、ステークホルダーに向けて説明責任を果たすため、様々なレポートを作成しています。投資信託会社が発行する「目論見書」や「運用報告書」もそのひとつで、作成のためには高度な制度の理解

やデザイン技術が求められます。こうしたレポートの作成業務について、効率性の観点から外部に委託したいと考える企業が増えています。

NRI-FGでは、NRIプロセスイノベーションが培ってきた金融業務のノウハウと日経印刷HDが有するレポート作成に関する技術の融合により、金融業界向けの高品質なレポート作成サービスをワンストップで提供していきます。

新設会社の概要

社名	NRIフィナンシャル・グラフィックス株式会社 (NRI-FG)
設立日	2014年7月2日
主な事業内容	レポート作成、印刷業務の受託および関連コンサルティング業務

▶「NRI未来創発キャンパス2014」を開催



「NRI未来創発キャンパス」を2014年7月2日(大阪)、4日(名古屋)、7日(東京)で開催しました。「NRI未来創発キャンパス」とは、大学生・大学院生とNRI社員とが一緒になって“未来”について考えるフォーラムです。次世代を担う学生たちに、日本の将来について考え、提案してもらおう場を提供する活動のひとつで、2012年の開始から今年で3年目となりました。

2014年のテーマは「世界に羽ばたくグローバルリーダーを知ろう」と題して、グローバルで働くことを中心にした講演やトークセッションがおこなわれ、

NRI社員がそれぞれの経験から感じた「グローバル」を語りました。また、プログラム終了後には、当日の講演者やトークセッションメンバーに質問をしたり、意見交換をおこなったりする交流会が開催されました。

400名近くの大学生・大学院生が参加し、「今後のキャリアを考えるためのいいヒントになった」「グローバルリーダーになりたくなった」「実際にNRIの社員の雰囲気を感じることができて良かった」などの声が寄せられました。



NRIの前身となる2社のひとつ、旧株式会社野村総合研究所は1965年4月1日に野村証券株式会社の調査部を母体に、日本初の民間シンクタンクとして発足しました。一方、株式会社野村電子計算センターは1966年1月5日に、日本初の商用コンピュータを導入するなど先進的な取り組みをおこなっていた野村証券株式会社の電子計算部を母体に設立されました。両社が1988年1月に合併し、誕生した新生NRIは、2015年度に創立50周年を迎えます。

これに先立ち、50周年記念キャッチフレーズとロゴが決まりました。「変える意志、変わらぬ信念。」の「変える意志」とは、理想の姿や目指す姿を社会やお客様とともに考え、それに向かってともに変えていこう、そしてNRI自身も変わっていこうという意志です。一方、「変わらぬ信念」とは、連綿と引き継がれている創業の精神を大切に、「先進」「信頼」「品質」を旨とするNRIグループの使命を全うしていこうという信念です。全役職員で共有して50周年を迎えるとともに、さらにその未来に向かって邁進していきます。

50周年記念事業は既に動き出しています。今後、詳細をお知らせしていきます。

会社概要

会社名	株式会社野村総合研究所
英文社名	Nomura Research Institute, Ltd.
所在地	〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目6番5号 丸の内北口ビル
沿革	1965年 4月 株式会社野村総合研究所 (NRI) 設立 1966年 1月 株式会社野村電子計算センター (NCC) 設立 1988年 1月 両社が合併 2001年12月 東京証券取引所第一部に株式を上場
資本金	186億円
代表者	代表取締役社長 嶋本 正
従業員数	5,938名/NRIグループ8,123名 (2014年3月31日現在)

株主メモ

- 株券電子化にとまなない、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、下記特別口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	6月
単元株式数	100株
公告方法	電子公告（当社ホームページ http://www.nri.com/jp/ ） ただし、事故その他のやむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 (連絡先・照会先)	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 ☎ 0120-232-711（通話料無料）

ホームページのご案内



IR情報 トップページ
<http://www.nri.com/jp/ir/>



環境への取り組み トップページ
<http://www.nri.com/jp/csr/greenstyle/index.html>

NRIのIRサイトでは、決算発表の当日に決算短信、決算発表会資料をご覧いただけるなど、最新情報を速やかに掲載しています。ぜひご活用ください。2014年9月に環境への取り組みをリニューアルしました。NRIの環境負荷低減に向けた活動を具体的に紹介しています。